　　　　　　浜名湖をめぐる研究者の会　第29回ワークショップ開催のお知らせ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2023年10月各位殿　拝啓、秋も深まってきましたが、皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。　「浜名湖をめぐる研究者の会」は、浜名湖と周辺地域の様々な研究情報の交流の場として、毎年12月に東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所で開催されてきました。例年この会には大学の研究者だけでなく、自治体、民間の研究機関、中学、高校の生物・科学部、在野の研究者など様々な方が参加しています。そして発表は自然環境、環境を演出する生物、さらには人間活動を含めた地理的なものまで、バラエティーに富んだ内容のワークショップです。　本年度は3年ぶりに「浜名湖をめぐる研究者の会第 29回ワークショップ」を開催することとなり、別紙のとおり実施要領を決めましたので、ご案内申し上げます。

**実施内容を変更しておりますので、お間違えの無いようご確認ください。**例年のように活発な 会となるよう、大勢の皆様の参加を期待しております。参加・発表の申し込みは郵送、Fax、また はメールで、**１１月２４日までに**事務局宛にお願いします。なお、参考までに2019年度のプログラムを同封いたします。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　敬具

浜名湖をめぐる研究者の会　事務局　　 〒 431-0214　　　　　　　　　　　　 静岡県浜松市西区舞阪町弁天島 2971-4　　　 東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所

教授 菊池　潔　　　　　　　　 Tel : 053-592-2821　　　 Fax 　 : 053-592-2822　　　 　 http://www.se.a.u-tokyo.ac.jp/japanese.html 　　　　　　　　　　　浜名湖をめぐる研究者の会　第29回ワークショップ日時：　　2023年12月9日（土曜日）14時～17時

**懇親会は予定しておりません。**

場所：　　東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所

研究棟１Ｆ学生実習室（ポスター掲示）**口頭発表はありません。**受付：　　2023年12月9日　13時から

参加申し込み：郵送、Fax、またはメールで、**11月24日までに**お願いします。

申し込み先：〒 431-0214　静岡県浜松市西区舞阪町弁天島 2971-4　東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所　 事務局　宛Fax: 053-592-2822　　　E-mail:  [ayuka@g.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:ayuzuru@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp)

申し込み方法：お名前、所属、ご住所（連絡先）、発表の有無、発表がある場合にはそのタイトル、

宿泊の希望の有無などについてお知らせ下さい。郵送、Fax の場合には4枚目の用紙

をご利用下さい。

発表形式：発表者は、**ポスターの掲示**と**１分間のフラッシュトーク**（簡単な自己紹介）を行います。**フラッシュトークは1分以内厳守**でお願いします。

発表要旨：発表要旨の形式は特に定めていませんが、大きさはA4版、ページ数は4ページ以内として下さい。**要旨集用の原稿は、当日受付に提出してください。**

発表要旨は後日、印刷・製本の上、ワークショップ参加者に配布します。内容はポスターそのままでも結構ですが、オフセットモノクロ印刷のため、カラー原稿の色は反映されません。

‐　研究発表要項　‐

1．ポスターの掲示12月9日14時までに、こちらで準備したパネルにポスターを掲示して下さい。ポスターの内容と形式は自由ですが、次のことを御考慮下さい。パネルの大きさは 750 × 1150 mm、下地はコルクボードです。

パネル左上に発表番号（100 × 70 mm）がはってありますので、定められた番号のパネルを使ってください。発表番号が見えるように掲示をお願いします。

2．フラッシュトーク

フラッシュトークは12月9日14時より、各ポスター前で始めます。（事前にポスターの掲示を必ず終えてください。）**トーク時間は1分以内厳守**ですので、簡単な自己紹介にとどめてください。スライドを用いた発表は予定しておりません。

3．質疑、討論

フラッシュトーク終了後、ポスター発表の時間に移ります。それぞれのポスター前で意見交換を行ってください。

4．ポスターの撤去

**17時の終了後、発表者ご自身でポスターの撤去をお願いします。18時までに撤去を完了してください。**

　　 浜名湖をめぐる研究者の会　第２９回ワークショップ参加申し込み氏名

所属

住所（連絡先：変更があった場合や、現在の送付先住所が間違っている場合、お願いします）電話FaxE-mail アドレス

発表の有無　　　発表希望 （　有り　　　無し　）

　　　発表題目・発表者氏名・所属（連名での発表の場合は全員の氏名所属）

宿泊の希望 （　有り　　　無し　）

　　　　　　　 　　　月　　日　から　　月　　日　まで　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　宿泊者人数 人

　申し込み頂きましたお名前、ご住所等の個人情報は、当事務局において厳重に管理するとともに、浜名湖をめぐる研究者の会に関するご案内に使用させていただきます。

第28回浜名湖をめぐる研究者の会プログラム

2019年12月7日

1. 浜名湖における溶存酸素量の経年推移　　　　　 山本佳奈恵（静岡県環境衛生科学研）
2. 浜名湖、天竜川をめぐる里山、海岸林整備　　　　　　 山路淳（平尾の里山資本主義）
3. 浜名湖発親うなぎ放流連絡会　　　 須藤竜介(水産研究・教育機構)、斎藤仁孝(浜松市)
4. 浜名湖におけるフナムシ2種の分布と系統分類

堀口弘子、針山孝彦（浜松医科大）、藤森文臣（遠州自然研究会）

1. 2019年度 浜名湖におけるアマモ場での魚類相の季節変化

鈴木健友、内山達人、津坂鮎美、武藤文人（東海大海洋）

1. 静岡のさまざまな水問題　　　　　　　　　　　　　　　　　 　戸田三津夫（静大工）
2. カメの生育環境調査　―ミシシッピアカミミガメの駆除及びカメの生息比調査―

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　江塚笙真、上川誉斗（静岡県立磐田南高）

1. 既存の有機汚濁指標を組み合わせて佐鳴湖の有機汚濁の謎に挑む

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　米倉佑（静大院総合）、戸田三津夫（静大工）

1. 佐鳴湖流域のネオニコチノイド系農薬の現状

辻野兼範（佐鳴湖シジミプロジェクト協議会）

1. 三河湾奥、豊川河口干潟・前浜干潟における底生生物の出現種数、生息密度及び現存量の変動

―2019年の市民参加による干潟調査結果―

野田賢司（愛知大学綜合郷土研）、加藤正敏（みなと塾）

1. 失われつつある食文化の継承へのアプローチ　―西伊豆 塩カツオの商品開発を例に

川本大智（東海大海洋）

1. 何が減災につながるか 巨大台風19号と伊勢湾台風 井上正男（市民環境ジャーナル）
2. 川エビを追う～両側回遊型のなぞ　 松下洋夢（浜松市立三方原中）
3. モデリングの意味　 杉浦享一（浜松市立三方原中）
4. ヒメハゼの感情と顔色変化の関連性　　　 藤田匡信（浜松市立浜名中）
5. 赤いおなかのすもぐり名人 ―アカハライモリをいっぱい増やそう―

堀田智仁（浜松市立曳馬中）

1. 赤色と緑色どちらが人気？　トウカイモウセンゴケの葉色の変化

磯部神威、榑林晴翔、白川巧弥、土屋柊人、伊藤信一（浜松学芸中・高）

1. シジミは川を遡る？～シジミの河川移動の可能性を個体数ピラミッドから探る～

大月悠雅、伊藤綾佑、山本大嗣、伊藤信一（浜松学芸中・高）

1. ハエトリグモは右利き？左利き？～ハエトリグモの行動特性から利き脚を明らかにする～

児玉拓海（浜松学芸中・高）、笠井敦（静大農）、伊藤信一（浜松学芸中・高）

1. 塩基配列解析を用いた貝類の判別

山谷拓巳、大森識照、杉浦栄輝、黒川悠馬（愛知県立豊丘高）

1. 舞阪漁港で水揚げされた遠州灘の深所性魚類

手良村知功、平瀬祥太朗、菊池潔（東大水実）

1. ノドグロヒメアンコウ*Lophiodes insidiator*(アンコウ目アンコウ科)の分布特性

江藤暁（東京海洋大）

1. キンメダイのオスメスの見分け方　　　　　　　　　　 木南竜平（静岡県水産技術研）
2. トラフグ属魚類の成熟と成長に関する遺伝学的研究

杉田周平、細谷将、城夕香、菊池潔（東大水実）

1. トラフグ属魚類の鰓の組織化学的比較

佐藤楽生(東大水実）、田角聡志(鹿大水）、中村修、筒井繁行(北里海洋）、菊池潔(東大水実）

1. 2018年秋の台風24号の前後で変わった天神森の姿　 兒島由依（静大附属浜松中）
2. 魚と光が変えるレタスの成長と味PartⅡ　 　石川優（静大附属浜松中）
3. プラスチックからガソリンをつくる研究　 堀場幸也（静大附属浜松中）
4. 島根県中海におけるカワウの食性　　　　　　 堀之内正博（島根大エスチュアリー研）
5. シロバナセンダングサについて　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　高鳥謙三
6. 地球の設計図　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　佐治良雄